

我が国は、一年前に発足した安倍内閣の経済政策、いわゆるアベノミクスの効果で株価は上がり、雇用も伸び、東京都などの大都市や一部の大企業は経済効果を享受しつつあります。福岡市においても、税収の伸び、人口の増加などから、日本で一番元気な地方都市と言われていますが、果たしてどれくらいの人が「本当に経済がよくなつた」「暮らしやすくなつた」と実感しているのでしょうか？地方都市や中小企業においては、アベノミクスの効果も実感できないという状況にあります。そのような中、



9月の第二次安倍改造内閣において、重点政策を担当地方創生担当大臣に石破茂氏が任命されたことは、国が地方の豊かさに真剣に取り組もうとする強い意志の表れだと期待しています。

福岡市の人口も150万人を超え、国際都市を提唱し、さらなる経済成長を目指す中、11月の市長選で当選された高島市長も、都市の成長と生活の質の向上の好循環を創出することを提言されています。しかし元気な地方都市福岡市も、細かい地域を見てみると、過疎化が進んでいる地域、少子化・高齢化が著しく進んでおり、多くの問題を抱え、教育や福祉、医療、交通利便性など生活の質の地域格差があるのが現実です。地域格差を改善するには国策としての地方創生と同様に、福



平成26年度は、市議会議員として4期目の最後の年となりました。議員になつて16年、市民の代表として、福岡市のため、地域のため、子どもたちのためと精一杯活動してまいりました。その思いは地域社会の一員として地域行事に参加し、皆様と触れあうことで、ますます強くなっています。今後も尚一層、皆様の思いに応えるべく、様々な問題にしつかりと取り組んでまいります。「しんpei」

創生が必要です。それぞれの地域の特色にあつた街づくりをすすめ、住民一人ひとりが真の豊かさを実感できる住みやすい福岡市の実現に邁進していきたいと思

地域への思いは、さらに強く！



しんpei通信

Vol.10

発行責任者
川上しんpei
〒811-0321
福岡市東区西戸崎6-2-7
電話 092-603-6815
FAX 092-603-6825

12月18日晋平議員は26年第5回市議会定例会において、一般質問を行いました。主な内容は次のとおりです。

「志賀島小学校の教育環境について」

Q: 教育環境の不均衡を是正する為、学校規模の適正化として、志賀中プロックの3小学校と中学校を統合再編した施設一体型「小中連携校」が提案されている。が、地域への説明が不足し、地域の方々の理解が進んでおらず、誤解や行政への不信感から、地域を混乱させている。教育委員会は、再編を無理に推し進めるつもりか？統合再編に対する地域の方々の考え方は様々ですが、地域を思う気持ちは同じ。教育委員会だけでなく、総務企画局など市役所一丸となり、志賀島の現状をしっかり把握し、子ども達にも、地域の方々にも一番良い学校のあり方を提案して、地域住民と共にしっかりと検討してほしい。

A: 保護者や地域の皆様のご協力ご理解が必要不可欠であるので、説明会や意見交換、丁寧な情報提供を充分に行い、合意形成を図ったうえで事業を進めて行きます。子ども達の学習環境改善の視点だけでなく、地域コミュニティの維持や歴史文化の継承の視点も重視し、子育て世代の定住に繋がるよう、総務企画局などと連携しながら、住民の皆様と共により良い学校づくりの検討をしていきます。



「福岡市における地方創生と一次産業の活性化について」

Q: 福岡市においても、農山漁村地域は人口減少や高齢化が著しく進行しており、地方創生「生活の質」の向上の取り組みが必要不可欠である。そのような地域の一つである志賀島地域は、一次産業が主産業の島であり、農業、漁業でも高齢化、人口減少が深刻になっている。そうした中、知恵をしぼり特產品を活かした取り組みで活性化を目指し、実績を上げつつあるが、このような取り組みに市からも積極的に支援してもらいたい。そして更なる活性化と、雇用が生まれるよう、海の中道海浜公園に来園する人達を志賀島まで引き入れる魅力作りが必要であると考える。島の観光スポットを回り、食事をし、買い物をして帰るという、都市近郊の観光スタイルを提案する。そのため市でも、農協、漁協とともに核となる直売所の設置を検討し、地方創生の取り組みとして、自然を活かした公園や道路整備等を国に働きかけてほしい。

A: 志賀島で進められている、活性化構想の見直しを引き続き支援し、民間事業者など多様な事業主体を巻き込みながら、地域と一体になって活性化に取組みます。都市を成長させ、その活力をしっかりと市民の生活の質の向上に繋げる好循環を作り、この成長の実感を志賀島などの農漁村地域を含めた市内の隅々にまで行き渡らせ、経済的な成長と安全安心で質の高い、バランスの取れた都市作りを進めます。

川上しんぺい プロフィール



●しんぺい杯グランドゴルフ大会にて

昭和46年 福岡市に生まれる
平成2年 福岡県立筑紫丘高校卒業
平成6年 中村調理師専門学校卒業
福岡大学入学(平成12年中退)
平成9年 株式会社正興電機製作所入社
平成11年 福岡市議会議員初当選
平成15年 福岡市議会議員2期目当選
平成19年 福岡市議会議員3期目当選
平成23年 福岡市議会議員4期目当選

…現在に至る



●第一回福岡市議会にて

現在の主な役職

議会運営委員会 委員長
第3委員会 委員
(主管:経済観光文化局
港湾局・農林水産局)
文化・スポーツ振興推進協議会 委員長
福岡市農業委員会 委員
福岡市農業振興審議会 委員
福岡市水産業振興審議会 委員
人権擁護委員
自由民主党福岡県連青年局 次長
アーバンユースネット 福岡代表世話人
福岡私立幼稚園連盟 振興議員
福岡市保育推進議員連盟 議員
福岡市沿岸漁業振興議員連盟 議員
福岡都市圏研究会 会員
福岡青年会議所シニアクラブ 会員
福岡那の津ライオンズクラブ 会員
福岡市東消防団西戸崎分団 班長
若宮商店会 相談役
中村専修学園 評議員
和白病院 評議員
アビスパ福岡支援議員連盟事務局 次長

この他にも、所属する各種団体の勉強会、校区行事への参加や、行政相談などを随時行っています。

黒田家と加藤家 古賀偉郎

筑前五二万三千石の太守となつた長政は驕ることなく堅実な治世を敷き、藩政を確立します。二代忠之の治世になると島原の乱など莫大な出費を伴う外的要因もあり、長政時代に蓄えていた銀は、忠之一代で食い潰し赤字財政となりました。そのため、三代光之は殖産興業を計り、藩財政再建に努めることとなります。

その一環として万治二年(1659)、農民たちの余力で国中の山野に松・杉など土地に適した樹木を植えさせ、耕作の影響のない山林を拝領山とし、家臣・社寺・農民・商人に下げ渡して竹木を植えさせました。

この時、一面砂丘で不毛の地であった西戸崎に松の植林をしたのが加藤弥左衛門成昌です。その後、加藤家により代々植林と管理がされ、白砂青松の地へとなりました。加藤家とはどの様な家柄なのか時代を遡ってみますと、弥左衛門成昌の祖父加

門の次男玉松丸(後の黒田美作一成)を養子とし、長政時代に三奈木黒田家一万六千石を与える代々黒田美作を称し筆頭家老として幕末まで続く家となりました。当の又左衛門重徳は、肥州宇土藩主小西行長に仕えますが、関ヶ原の合戦後に黒田家に三千石で召し抱えられます。西戸崎に松を植林した弥左衛門成昌は、加藤又左衛門重徳の孫であり黒田美作の甥となります。

また、幕末の勤王の志士であり家老職であつた加藤司書は、弥左衛門成昌より八代目の子孫となります。黒田家とそこに関わった加藤家の人々、特に西戸崎の恩人加藤弥左衛門成昌が官兵衛孝高の恩人の孫であつたことは、歴史の面白さと言えましょう。

東区見聞録

藤又左衛門重徳は、何と黒田官兵衛孝高の命の恩人であったのです。

官兵衛が有岡城の土牢に幽閉され

て、官兵衛が有岡城の土牢に幽閉され

平成26年

活動報告

1月	17日 都市問題等調査特別委員会
2月	18日 自民党青年局勉強会
3月	19日 福岡市農業委員会
4月	20日 ウォーターフロント街づくり協議会
5月	21日 都市圏研究会
6月	22日 第3委員会行政視察 (とよた工コフルタウン)
7月	23日 福岡市農業委員会
8月	24日 福岡市農業委員会
9月	25日 都市問題等調査特別委員会
10月	26日 水産業振興推進協議会
11月	27日 第4回福岡市議会(定例会)
12月	28日 経済観光文化局所管事務調査 ※兵庫県博物館事業の取り組み (とよた工コフルタウン)
1月	29日 第4回福岡市議会(定例会)
2月	30日 東区自治組織会長懇親会
3月	31日 農業振興審議会
4月	1日 子ども病院竣工式
5月	2日 アーバンユースネット
6月	3日 農業振興審議会
7月	4日 政令都市議員連絡協議会
8月	5日 第4回福岡市議会(定例会)
9月	6日 第5回福岡市議会(定例会)
10月	7日 福岡市長選挙投票日
11月	8日 立候補者登録
12月	9日 衆議院選挙投票日
1月	10日 アビスパグローバル
2月	11日 アソシエーツ理事会
3月	12日 森と海の再生交流事業
4月	13日 ライオンズクラブ例会 卓話講師
5月	14日 第5回福岡市議会(定例会)
6月	15日 第6回福岡市議会(定例会)
7月	16日 福岡市農業委員会
8月	17日 理事会
9月	18日 第7回福岡市議会(定例会)
10月	19日 第8回福岡市議会(定例会)
11月	20日 第9回福岡市議会(定例会)
12月	21日 第10回福岡市議会(定例会)
1月	22日 第11回福岡市議会(定例会)
2月	23日 第12回福岡市議会(定例会)
3月	24日 第13回福岡市議会(定例会)
4月	25日 第14回福岡市議会(定例会)
5月	26日 第15回福岡市議会(定例会)
6月	27日 第16回福岡市議会(定例会)
7月	28日 第17回福岡市議会(定例会)
8月	29日 第18回福岡市議会(定例会)
9月	30日 第19回福岡市議会(定例会)
10月	31日 第20回福岡市議会(定例会)



●11月29日、森と海の再生交流事業にて